

# 認知的ウェルビーイング： ENHANCE 研究

将来的な聞こえの対処に必要なエビデンスに基づく指導

01

## 難聴と認知機能低下に関する新たな所見

ランセット委員会では、  
難聴は高血圧や肥満よりも、  
認知症を

**改善する可能性  
が最も高い**

ことを確認しています。<sup>1</sup>

**難聴と認知機能低下  
との関連性を理解する**  
ことが、成人の難聴者の  
現在および将来の管理に  
とって極めて重要です。

ENHANCE 研究では、高齢  
者の難聴を補聴器で改善  
することで、**認知機能の  
低下を遅らせたり、予防  
したりできるかどうか**を  
調査しています。<sup>2</sup>

02

## ENHANCE 研究：具体的な情報

ENHANCE とは、Evaluation of Hearing Aids and Cognitive Effects  
(補聴器と認知的効果の評価) の略です。<sup>2</sup>

**ENHANCE 研究の結果は、  
世界中の難聴高齢者の今  
後の聴力管理に役立つこ  
とが期待されています。**<sup>2</sup>

メルボルン大学、オーストラリア

**主な結果：**  
補聴器を使用して難聴を  
改善すると、認知機能の  
低下を遅らせる可能性が  
ある。<sup>3</sup>

現在、本研究は症例数を  
増やすため、参加者を募  
集中です。<sup>2</sup>

03

## 聞こえのケア：認知的健康の推進役

聴覚専門家は、聞こえのケアの総合的メ  
リットを強調するため、問題の中心を可聴  
性(特に認知的健康)に変更できます。

当社では、聴覚専門家に顧客と  
の話し合いに認知的健康の話題  
を積極的に取り入れるためのリ  
ソースを提供します。



**リソースを確認する**

[www.phonak.com/cognitive-well-being](http://www.phonak.com/cognitive-well-being)

- Livingston, G.; Huntley, J., Sommerlad, A., Ballard, C., Banejee, S. (2020). Dementia prevention, intervention, and care: 2020 report of the Lancet Commission, DOI:[https://doi.org/10.1016/S0140-6736\(20\)30367-6](https://doi.org/10.1016/S0140-6736(20)30367-6).
- University of Melbourne (2023, August 15). The ENHANCE Study: Evaluation of Hearing Aids and Cognitive Effects. <https://healthsciences.unimelb.edu.au/research-groups/audiology-and-speech-pathology-research/hearing-and-cognition-research-program/research/remediation-hearing-aids>.
- Sarant, J., et al. (2023, July 16-20). Cognitive Function in Older Adults with Hearing Loss: Outcomes for treated vs untreated groups at 3-year follow-up [Conference presentation]. AAIC 2023 Conference, Amsterdam, Netherlands.

